

山形教区報

立教 189 年

5 月号

第 173 号

発行 天理教山形教務支庁 〒994-0027 天童市桜町 11 番 1 号
TEL 023-656-8420 FAX 023-656-8425
編集 広報部 E-mail y_kohobu@yahoo.co.jp

立教 189 年 全教一斉ひのきしんデー



立教 189 年全教一斉ひのきしんデーが、4 月 29 日、「かしまの・かりもの」を心に一手一つにひのきしん」をテーマに、各地の会場で開催された。

ひのきしんは、「親神様のご守護を身を感じ、その感謝の心を日々の態度や行いに表すご恩報しの実践」(天理教布教部HP)と教えられ、全教一斉ひのきしんデーは、「日頃から教会や地域、また一人ひとりが実行しているひのきしんを、この日に集結して行う全教の統一行事」(同)と示されている。

教祖百四十年祭後に行われる最初の全教行事として、三年千日の年祭活動で培った成人の姿をご覧頂き、次なる塚への勇んだ歩み出しを期するために、各支部でも「教区・支部情報ねっと」などの SNS やチラシを活用し、一人でも多くの参加を呼び掛けた。

教区管内では、当日は小雨や強い風などの天候に見舞われた会場もあったが、会長を先頭に大勢のようぼく、信者が一手一つにひのきしんに当たり、それぞれの地域に勇み心を映させて頂いた。



中央支部

蔵王連峰の麓

児童養護施設「山形学園」(山形市)を会場に開催しました。

当日は、小雨が降ったり止んだりの天候でしたが、51名の参加者の方々は、駐車場のアスファルトの継ぎ目や花壇などの雑草を丁寧に取りました。施設で生活している子ども達や職員の方々も参加して下さるのが恒例となっており、会話を交わしながら作業する姿なども見受けられました。川正敏・中央支部長は「少し肌寒い中、施設の皆さん達とも慣れ親しんだ様子で、勇んでおつとめ頂きました」と謝意を述べていました。

支部では、全教一斉ひのきしんデーの外にも、学園の要望に応じて除草作業や清掃などのひのきしんを行う機会を設けており、感謝の声を頂いています。これからもひのきしんを通して地域の方々に喜んで頂き、お道の教えの素晴らしさを伝えていきたいと思えます。

報告者

藤原隆宏・中央

支部道友社社友



米沢支部

当日は曇

り空に時折り雨が混じる天候でした。昨年は米沢市のイベントで開催出来なかつた「松川河川敷」会場で開催しました。

河川敷周辺のゴミ拾いと、1年

間放置された河川敷スタンドの除草の二手に分かれ作業に当たり、特に、スタンドは草が覆い被さつて座る場所が見えないような状態になっており、最初は悪戦苦闘しながらの作業でしたが、参加者達はお互いに声を掛け合い、それぞれの役割分担がいつの間にか出来上がり、スムーズ且つ、和気藹々と除草作業を行うことが出来ました。

報告者

諸橋正史・米沢支部社友



置賜支部

赤湯組では、例年より10日程早く開花し、早や新緑とも言える烏帽子山公園(南陽市)の桜の下、県縦断駅伝の選手を応援する太鼓の音をBGMに、勇んで除草作業に励みました。例年参加している方が腰痛で欠席するなど、4名という少ない参加者数となりましたが、全員で除草した量は目算で約60^キ程と思われ、「大豊作」と喜ばせて頂きました。

報告者 武者 眞・赤湯分教会長

高畠組では特別養護老人ホーム「はとみね荘」(高畠町)に10名が集まり、敷地内の除草ひのきしんを行いました。

香川教区の教会長さんが参加したり、目の前が県縦断駅伝大会のコースになっていて、ひのきしんをしながら声援を送るなど、楽しくつとめさせて頂きました。

報告者 大河原清信・置賜支部長



鶴岡田川支部

「鶴岡市中央児童遊園」を会場に、朝方からの雨で肌寒い中でしたが、28名の皆さんと花壇や施設建物周辺の雑草取りをしました。

例年ひのきしんデー当日は、園内の児童館は閉館日となっているのですが、今年はずっと開館しており、一般の方々も施設を利用していました。そこで、来館者の4名の学生さんにお誘いの声を掛けたところ、一緒にひのきしんに参加してくれました。終了後に感想を尋ねたところ、「フレンドリーな雰囲気で、大変楽しかった」との答えでした。



みかぐらうたにお示し頂くように、ひのきしんは立派なにをいかけでもあることを実感させて頂いた出来事でした

報告者

鈴木伸次・鶴岡

田川支部社友

酒田飽海支部

特別養護老人ホーム「さくらホーム」(酒田市)を会場に、16名の方々に車椅子の洗浄を行いました。

車椅子にはたくさんさんの汚れが付着するので、洗剤や鉄ブラシなどを用いて、頑固な汚れを落とします。食事の食べこぼし、トイレ使用時に付いた汚れもあります。気持ちよく使って頂けるようにと、こうした汚れを丁寧に落としました。

初めて参加して下さった方は「落ちにくい汚れを一生懸命に落としました。この車椅子を使った方は身体が不自由で、仕方なくこぼしてしまっているのかも知れないかと、想像しながら作業しました」と話して



いました。その方の優しい心遣いが感じられ、ひのきしんを実践することの素晴らしさ、有り難さを、改めて感じました。

報告者

牧野啓道・

酒田市分教会長

中央西支部

中央西支部では、支部婦人会が中心となり、特別養護老人ホーム「大寿荘」



(大江町)にて、シーツ畳みなどのひのきしんを長年にわたり継続して行っています。全教一斉ひのきしんデーでも同ホームを会場に、施設職員の方々にもご理解を頂きながら、毎年恒例の行事として開催しています。

当日は、前日から降り続いた雨は上がったものの、肌寒さを感じるような天候となりました。そうした中、少年会員を含め15名の参加者の方々が集まり、施設からの要望に応じて、午後1時から中庭花壇内と施設玄関前の除草作業に当たらせて頂きました。皆さん熱心に作業に取り組み、休憩を挟んで、午後3時までつとめさせて頂きました。

報告者

藤野 徹・中央西支部長

天理教 山形教区祭

立教 189 年 5 月 31 日

(令和 8 年・) 2026 年

午前 10 時 受付

10 時 30 分開始

会場

山形教区教務支庁

参加費 3000 円

地域に住まう教友同士
一手一つに心揃えて

☆プログラム☆

○十時 受付

○十時三十分 祭儀式 おつとめ (十二下り)

教区長挨拶

昼食 (お弁当)

模擬店 (豚汁、フランクフルト、シュークリーム)

お楽しみ行事

○十五時 終了予定